

『新訂版 看護・医療系のための情報科学入門』第2版第2刷正誤表

『新訂版 看護・医療系のための情報科学入門』（第2版第2刷、2021年3月10日発行）  
 につきまして、以下のとおり誤りがありました。ここにお詫びするとともに、訂正させていただきます。

2023年6月 サイオ出版

頁	訂正箇所	誤	正
120	本文下から7行目	…標本の取り出し方に起因する。	…標本の取り出し方や測定機器に起因する。
154	本文下から8行目 本文下から7行目	値のまわり±s(標準偏差)に… …であった。	値のまわり±σ(標準偏差)に… …であった(図3-5では母標準偏差σを用いているが、表3-1の例題では標本のデータであることから不偏標準偏差を用いている。どちらを用いても「平均値±標準偏差」が母集団の約95%に相当する)。
156	表3-1 表中の2行目	標準偏差：8.07	不偏標準偏差：8.07
160	表3-2 表中の3行目	標本標準偏差：5.60	不偏標準偏差：5.60
161	本文下から8行目	…計算した標本標準偏差が…	…計算した不偏標準偏差が…
162	本文上から3行目 本文上から4行目 t分布を用いた信頼区間の式( $t_{1-\alpha} \rightarrow t_{\alpha}$ に修正) 例題 上から5行目 NOTE 下から2行目	…(このtを $t_{1-0.05}$ と表す)。 …用いるtは、 $t_{1-\alpha}$ と表す。 $\bar{X} - t_{1-\alpha} \frac{s}{\sqrt{n}} \leq \mu \leq \bar{X} + t_{1-\alpha} \frac{s}{\sqrt{n}}$ …標本平均、 $t_{1-\alpha}$ はt分布の… …すなわち $t_{1-0.05}$ は2.262… …tが起こる $t_{\alpha}$ である。	…用いるtは、 $t_{\alpha}$ と表す。 …(このtを $t_{\alpha}$ と表す)。 $\bar{X} - t_{\alpha} \frac{s}{\sqrt{n}} \leq \mu \leq \bar{X} + t_{\alpha} \frac{s}{\sqrt{n}}$ …標本平均、 $t_{\alpha}$ はt分布の… …すなわち $t_{0.05}$ は2.262… …tが起こる境界 $t_{\alpha}$ である。
170	本文下から5行目	…対象の母平均、sは標本標準偏差、	…対象の母平均、sは不偏標準偏差、
172	本文上から16行目	…自由度9、標本標準偏差は…	…自由度9、不偏標準偏差は…
174	確率モデル:解説2行目	…それぞれの標本標準偏差、…	…それぞれの不偏標準偏差、…
211	練習問題第4章Q5解答	・t検定： $t_0=2.669$ 、自由度…	・t検定： $t_0=2.771$ 、自由度…

p.119 図1-5 加法定理と乗法定理

誤

乗法定理

コインは2枚

P=0.5 P=0.5

同時に起こる確率は……  
0.5

加法定理

コインは1枚

P=0.5 P=0.5

表または裏の出る確率は……  
0.5×0.5

↓

正

加法定理

コインは1枚

P=0.5 P=0.5

表の確率と裏の確率の和は……  
0.5+0.5=1

乗法定理

コインは2枚

P=0.5 P=0.5

両方表が出る確率は……  
0.5×0.5=0.25